

学校施設の複合化を契機とした 地域コミュニティの醸成

1 国・東京都・小平市の学校と地域の連携・協働推進の動向

第4期教育振興基本計画

文科省

目標9 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
学校・家庭・地域が連携・協働することにより、地域社会との様々な関わりを通じて子供たちが安心して活動できる居場所づくりや、地域全体で子供たちを育む学校づくりを推進する。

- 【基本施策】 ○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
○家庭教育支援の充実
○部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備

出典：文科省 令和5年6月16日閣議決定 第4期教育振興基本計画より一部抜粋

東京都教育ビジョン（第5次）

東京都教育委員会

基本的な方針9 家庭、地域・社会と学校とが連携・協働する教育活動の推進

- ・地域・社会の教育資源を活用し、子供を支え伸ばす教育活動の推進
【主な施策展開】 ○「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」の取組の充実
○地域学校協働活動の推進（教育振興基本計画令和5年6月閣議決定「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」を踏まえつつ、地域人材の活用が促進されるよう、区市町村を支援）
- ・学校と家庭、地域・社会が一体となり、子供を見守り、育てる教育活動の推進
【主な施策展開】 ○学校と家庭との連携を図る取組の充実
○「放課後子供教室」における活動の推進
○外部人材を活用した授業以外の場における学習支援の充実

出典：東京都教育委員会 令和6年3月東京都教育ビジョン（第5次）より一部抜粋

第二次小平市教育振興基本計画

小平市教育委員会

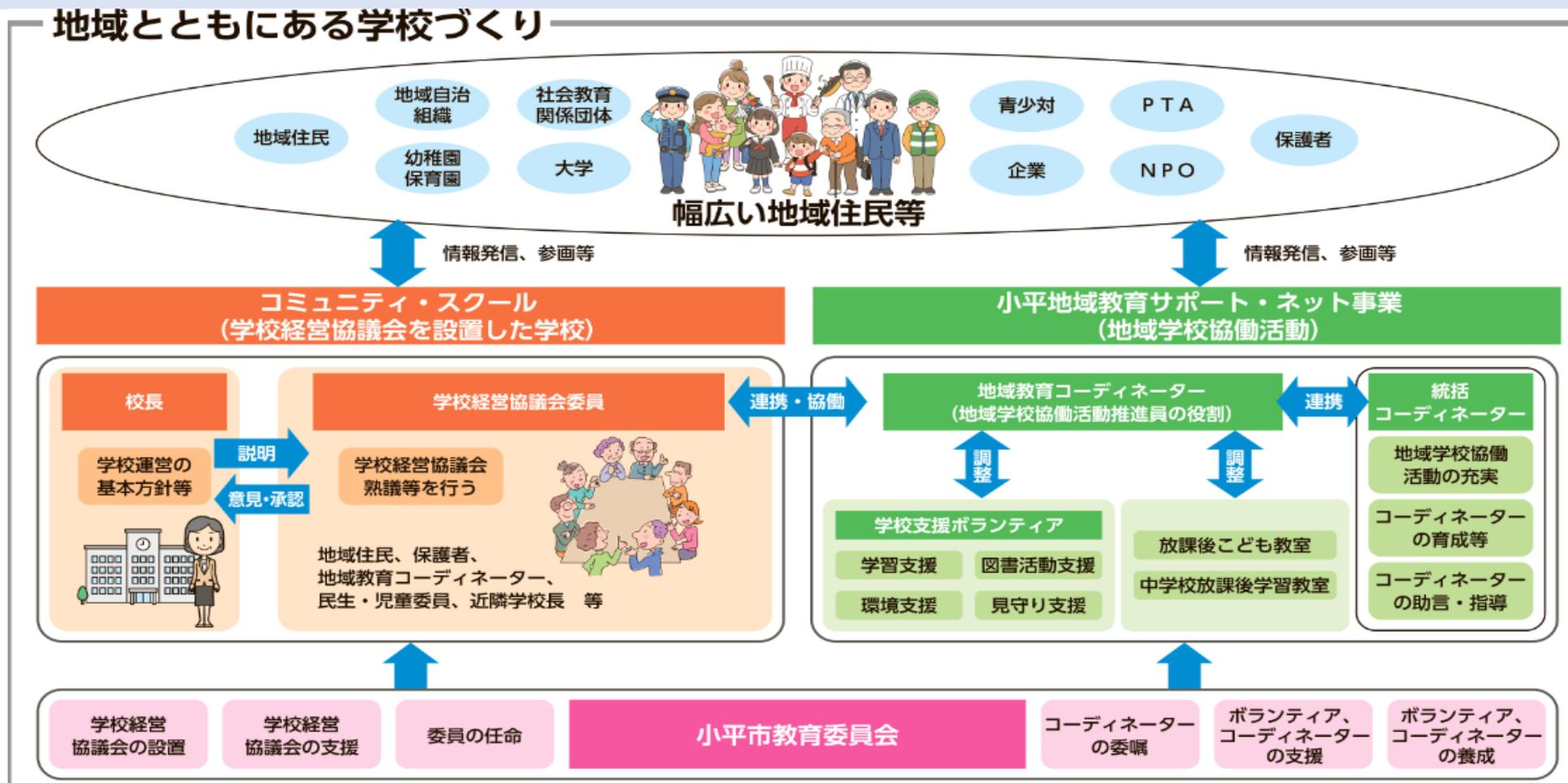
基本的施策9 「地域総がかりでの教育の推進」

「地域とともにある学校づくり」を目指すコミュニティ・スクールと、「学校を核とした地域づくり」を目指す地域学校協働活動等を通じて、学校内外において子どもたちが地域と触れ合い、協力を得ながら生涯を通じて学び成長していくことができるよう努めていきます。

出典：小平市教育委員会 令和5年2月第二次小平市教育振興基本計画より一部抜粋

2 小平市のコミュニティ・スクール及び小平地域教育サポート・ネット事業

(1) コミュニティ・スクール（学校経営協議会を設置した学校）と小平地域教育サポート・ネット事業（地域学校協働活動）の仕組み



コミュニティ・スクールとは

学校に対する必要な支援等について協議し、よりよい学校運営につなげていく仕組みとして、教育委員会が学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。小平市においては、地域と一体となって学校を運営していくという考えから、「学校経営協議会」という名称を使用しています。保護者、地域住民が一定の権限と責任を伴いながら、その意見を学校経営に反映させ、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

出典：令和7年6月15日発行小平市教育委員だよりより一部抜粋

小平地域教育サポート・ネット事業（地域学校協働活動）とは

保護者や地域の方々による学校への「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」へと発展させた「学校を核とした地域づくり」を目指す「地域学校協働活動」に取り組みます。

出典：小平市HP 小平地域教育サポート・ネット事業（地域学校協働活動）より一部抜粋
<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/020/020885.html>

(2) コミュニティ・スクールとしての取組例

小平市のコミュニティ・スクールでは、以下のような取組を行っています。

お店番体験等



コミュニティ・スクール委員による学童農園、お店番体験（渉外・新規開拓・調整・体験受入なども含む）、防災教室、学年花壇の活用提案、出前授業、動植物のお世話、学年行事の保護者ボランティア募集などの協力をしていただきました。教職員がどの学年を担当しても、学年に応じた外部人材との橋渡しを担っていただきました。
【小平第十四小学校】

「防災を考える日」の実施



コミュニティ・スクール委員が中心となって実施しました。各教室での防災授業や体育館と屋外での体験学習を行いました。当日は、市役所や地域ボランティアの方々の協力もあり、とても充実した取組となりました。 【鈴木小学校】

キャリア教育講演会の開催



6年生を対象に、FC東京のコーチの講演会を企画し、キャリア教育の授業を行いました。
【小平第七小学校】

出典：令和7年4月発行小平市学校経営協議会実践事例集より一部加筆修正

その他

- ・(株)ブリヂストンとの連携（棚田での稲作、低学年交通安全教室、イベントへの児童の参加） など

(3) 小平地域教育サポート・ネット事業（地域学校協働活動）の取組例及びその他の取組例

小平地域教育サポート・ネット事業（地域学校協働活動）では、放課後子ども教室や学校支援ボランティアなどの取組を行っています。その他として、小学校区ごとに組織された任意団体である青少年対策地区委員会や、学校敷地内に設置した高齢者交流室を通じて、地域交流を行っています。

放課後子ども教室



放課後子ども教室は、市から委託された各学校区の実行委員会によって運営されています。実行委員会は、普段から学校と連携している地域の方、保護者、ボランティア、社会教育・児童福祉関係者など様々な方で構成されています。実行委員会では、コーディネーターを中心として、学校、PTA、地域の方々などの協力を得ながら、教育活動推進員や教育活動サポーターを配置して、学習の場、交流・体験の場、文化活動やスポーツなどの教室を開催しています。また、学童クラブと連携し、学童クラブの子どもたちも参加できるようになっています。

取組例

- ①よさこい、②ボール投げ、③ボッチャ、④ペーパークラフト、⑤フラワーアレンジメント、⑥ダンス、⑦将棋を学ぼう、⑧公民館サークルによる昔遊び など

学校支援ボランティア



各学校でボランティア登録をし、学校の要請により活動を行っています。ボランティアには、大学生を中心とした学生ボランティアと、保護者や地域住民等による社会人ボランティアがあります。

出典：令和6年度「小平市の教育」小平市教育委員会より一部加筆修正

取組例

- ①児童に対する個別指導、②専門知識を生かしたクラブ活動の補助、③花壇の手入れ、④本の整理・修理、読み聞かせ⑤児童・生徒の安全な登下校のための見守りや声掛け など

青少年対策地区委員会



小学校区ごとに現在19の地区委員会が、地域の青少年の健やかな成長を願って活動しています。市と協働して地域の青少年健全育成のための取組を推進しています。また、学校と連携・協働し、学校の教育活動を支援する地域の「学校サポーター」としても大きな役割を担っています。

出典：小平市教育委員会 小平市青少対ってなあに？ 一部加筆修正

取組例

- ①青少対まつり、②スポーツ大会、③コンサート、④クリーン作戦、⑤登下校の見守りあいさつ活動 ⑥安全パトロール活動 など

高齢者交流室



高齢者交流室は小平第二小学校内にあり、高齢者の皆さまの生きがい・健康づくり・仲間づくりへの支援事業のひとつとして、小平市の指定管理者である小平市社会福祉協議会が運営しています。高齢者交流室は、小平第二小学校内にあることから、学校の児童が訪れて、世代間交流の場にもなっています。

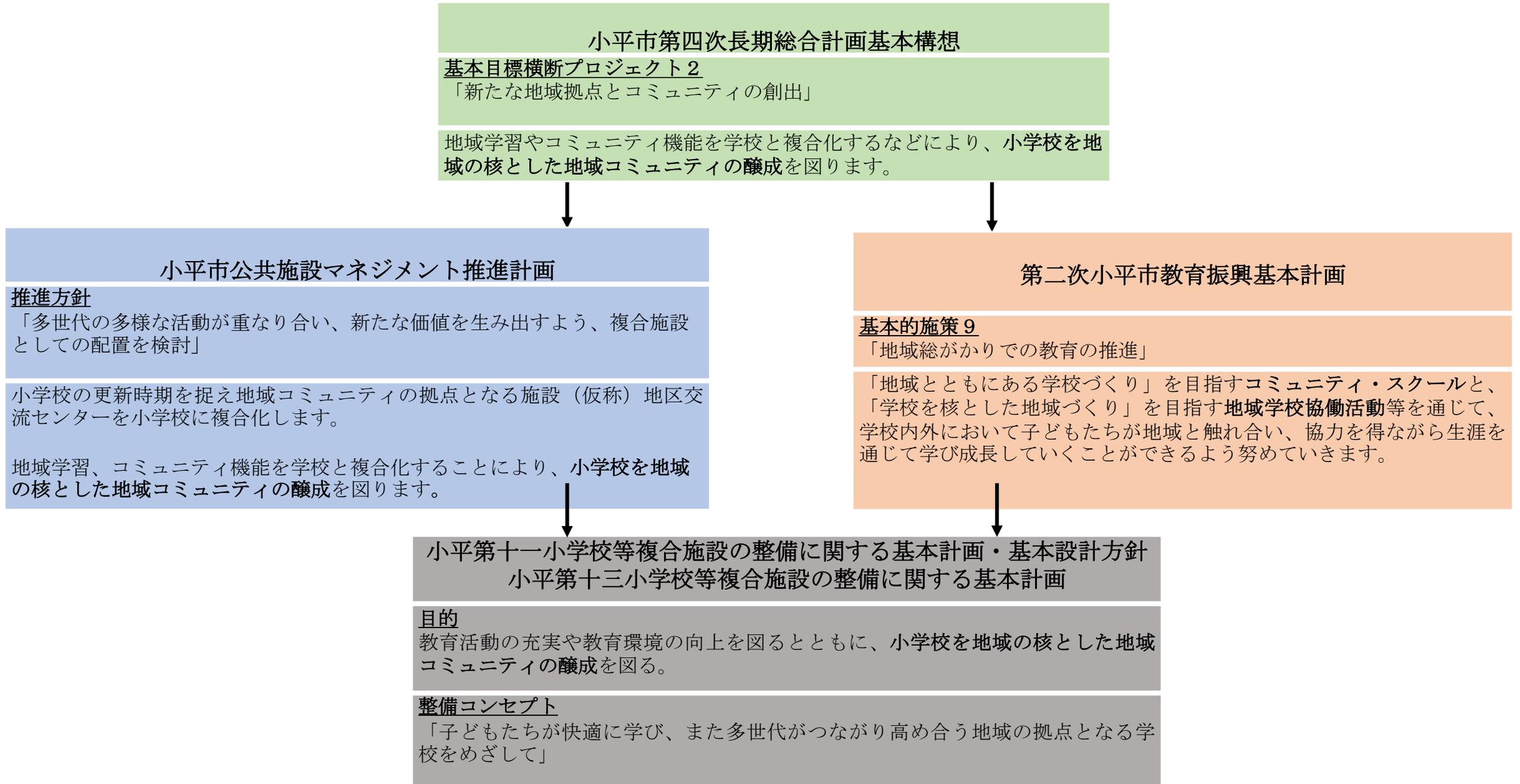
出典：社会福祉法人小平市社会福祉協議会HPより一部加筆修正

取組例

- ①介護予防体操、②脳トレ、③スクラッチアート、④口腔体操、⑤お手玉ダーツ、⑥絵手紙、⑦塗り絵台紙貼り、⑧おしゃべり、⑨テーブル輪投げ、⑩射的、⑪パターゴルフ など

3 小学校等複合施設について

(1) 小学校等複合施設の整備に関する基本計画の各種関連計画図



(2) 公共施設マネジメントについて

① 小平市公共施設白書（2015年2月発行）（2022年3月改定）

・将来的な大きな3つの課題を示しました。

課題① 人口減少・少子高齢化

課題② 財政バランスの悪化

課題③ 施設の老朽化・更新時期の集中

② 小平市公共施設マネジメント基本方針（2015年12月策定）

・3つの課題に対応するため、基本理念と4つの方針を定めました。

基本理念 いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう

方針① 魅力あるサービスの実現

方針② 持続可能な施設総量

方針③ コストの縮減と平準化

方針④ 長く活用できる施設

③ 小平市公共施設マネジメント推進計画（2017年3月策定）（2022年3月改定）

目的

・目標耐用年数を迎える施設の更新等に向けた対応を図るとともに、基本方針に沿った取組の推進に向けた方策を示すこと

推進方針

配置の考え方

・これからの公共施設については、新規整備は基本的に行わず、既存施設の更新は原則複合施設とすることで、2062(R44)年度までに施設の延べ床面積を20%以上縮減していきます。※延べ床面積の縮減目標は、最新の人口推計等を踏まえ、5年ごとに見直します。

・「満足度の高い魅力あるサービス」を実現するために、現在ある機能をできるだけ維持しながら新たな価値を生み出すことが必要です。

延べ床面積縮減目標

・人口推計や各施設の目標耐用年数などを踏まえ、床面積の縮減目標達成のための条件を設定します。

小・中学校の統合の検討

公共施設の延べ床面積の6割を占める小・中学校は、将来的に、中学校1校に対して小学校2校となるように構想し、小学校は19校から14校に、中学校は8校から7校とすることを検討します。

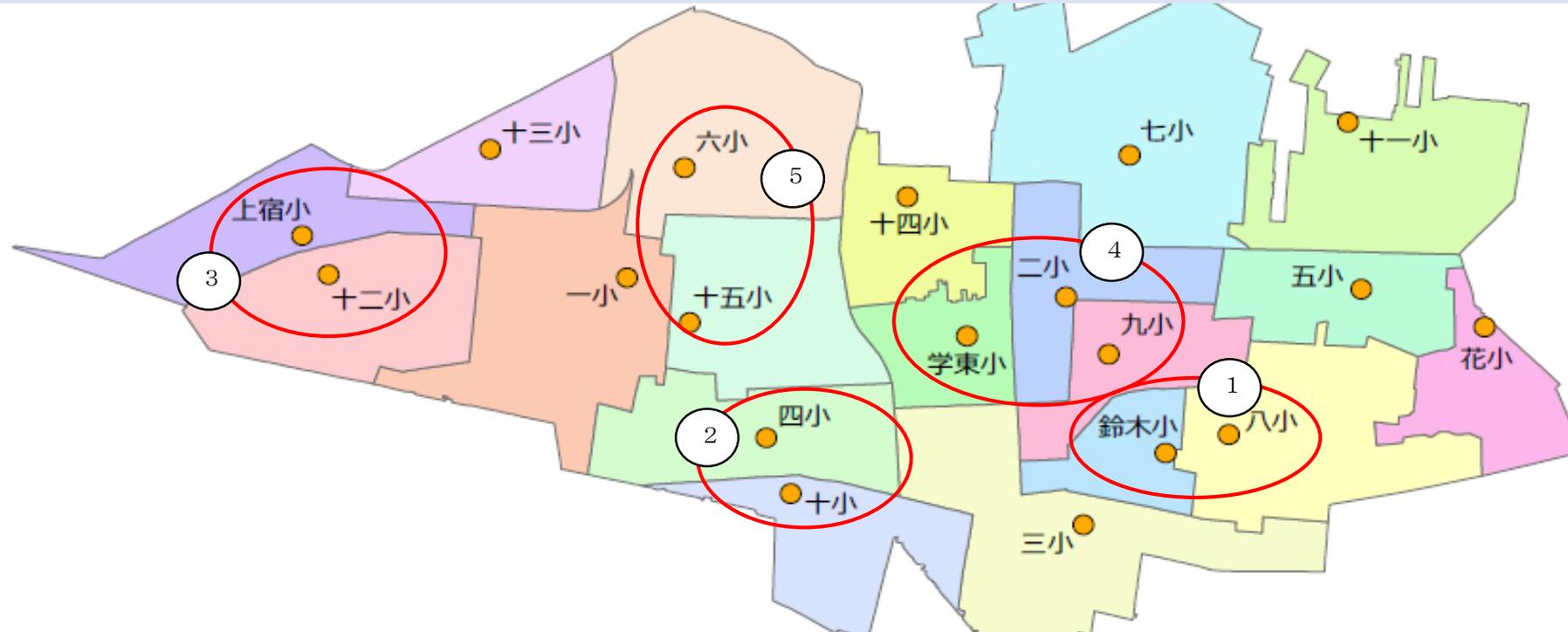
小学校への（仮称）地区交流センターの複合化推進

今後、2062（令和44）年度までに順次行っていく小学校の建て替えに合わせて、通学区域内の地域センターや公民館を、（仮称）地区交流センターとして、小学校の中に複合化・併設していきます。子どもから高齢者までが集まり、交流できる地域コミュニティの拠点とします。

縮減目標設定に関する条件等

・小学校は、将来的な少子化傾向を考慮し、5校を縮減
 ・中学校は、将来的な少子化傾向を考慮し、1校を縮減
 ・小学校更新時に複合化（併設）する（仮称）地区交流センターは、用途地域等を踏まえ600㎡を上限とし、同時に通学区域内の地域コミュニティ施設を廃止

(3) 小学校等複合施設の予定

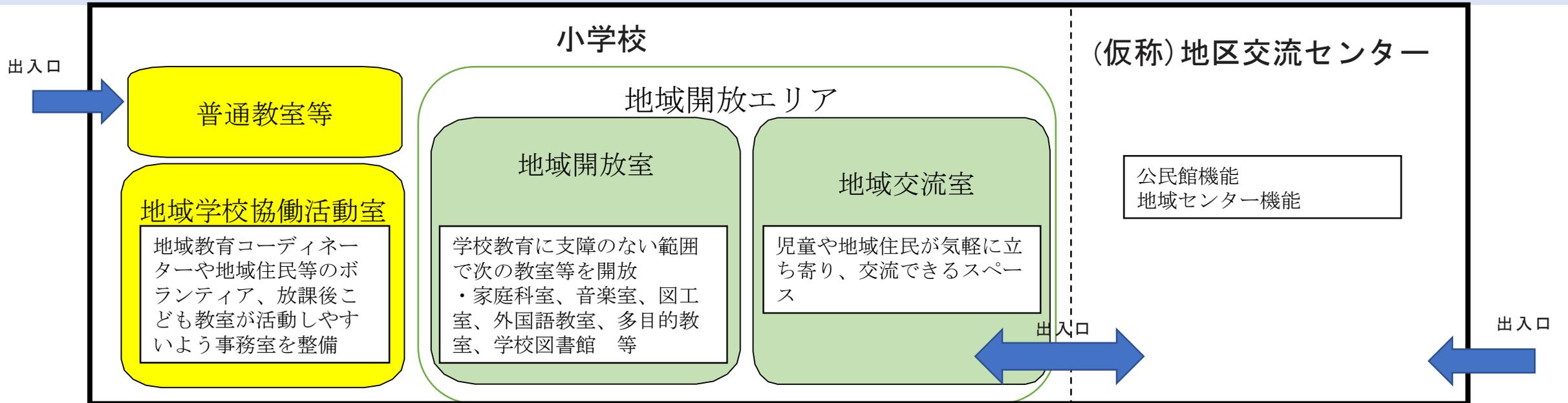


凡例	
	統合ブロック
	小学校等複合施設
※2062年度までに小学校等複合施設を14施設整備	

	統合ブロック	学校候補地	想定時期
1	小平第八小学校 鈴木小学校	小平第八小学校	2040年度 (第3期)
2	小平第四小学校 小平第十小学校	要検討	2045年度 (第3期)
3	小平第十二小学校 上宿小学校	要検討	2045年度 (第3期)
4	小平第二小学校 小平第九小学校 学園東小学校	要検討 ※3校を2校にする。	2050年度 (第4期)
5	小平第六小学校 小平第十五小学校	小平第六小学校	2062年度 (第5期)

出典：小平市公共施設マネジメント推進計画2022-2031（令和4年3月改定）一部抜粋

(4) 複合施設のイメージ図



(5) (仮称) 地区交流センターの役割

① 新たな活動を生み出す地域コミュニティの拠点

さらなる教育環境の充実や放課後活動支援、多世代交流、防犯・防災、こどもの見守り、高齢者の活躍の場、様々な担い手が連携した活動など、新たな活動が生まれ、発展していくような地域コミュニティの拠点づくりを行い、地域における共助の力を育むことができる地域コミュニティを目指します。

② 様々な人々が活動しやすい施設づくり

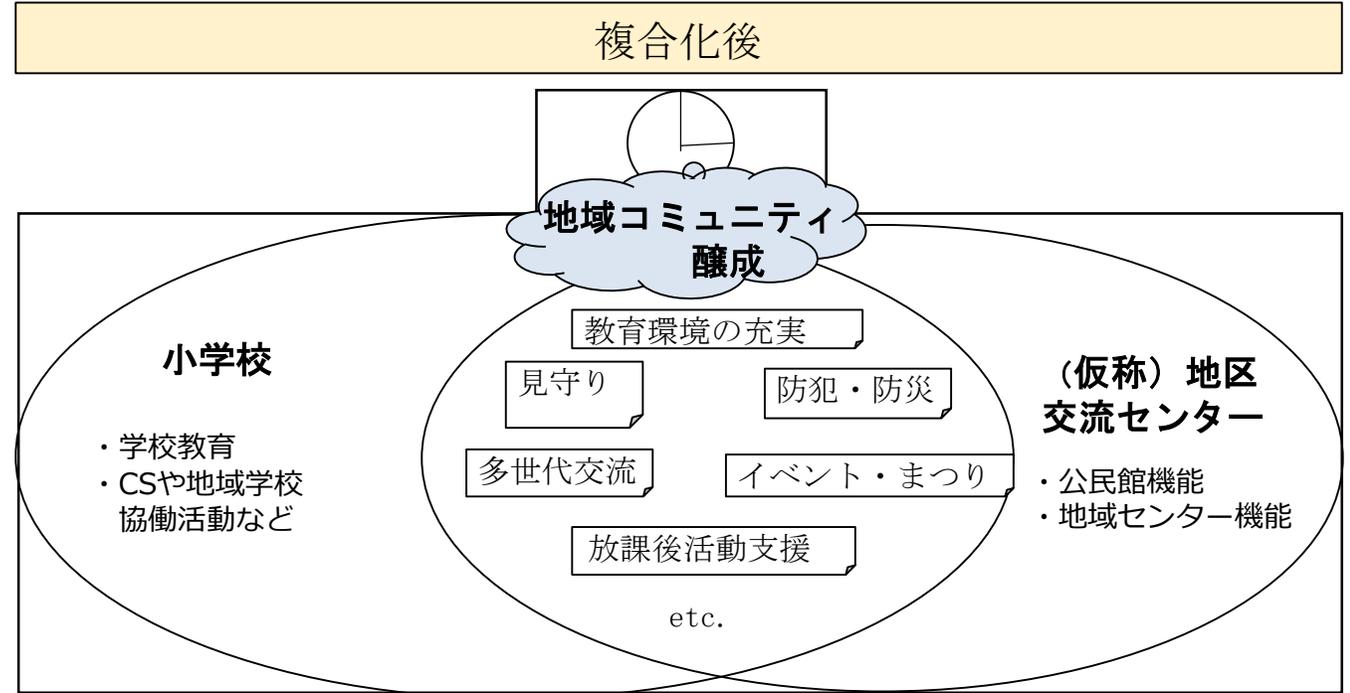
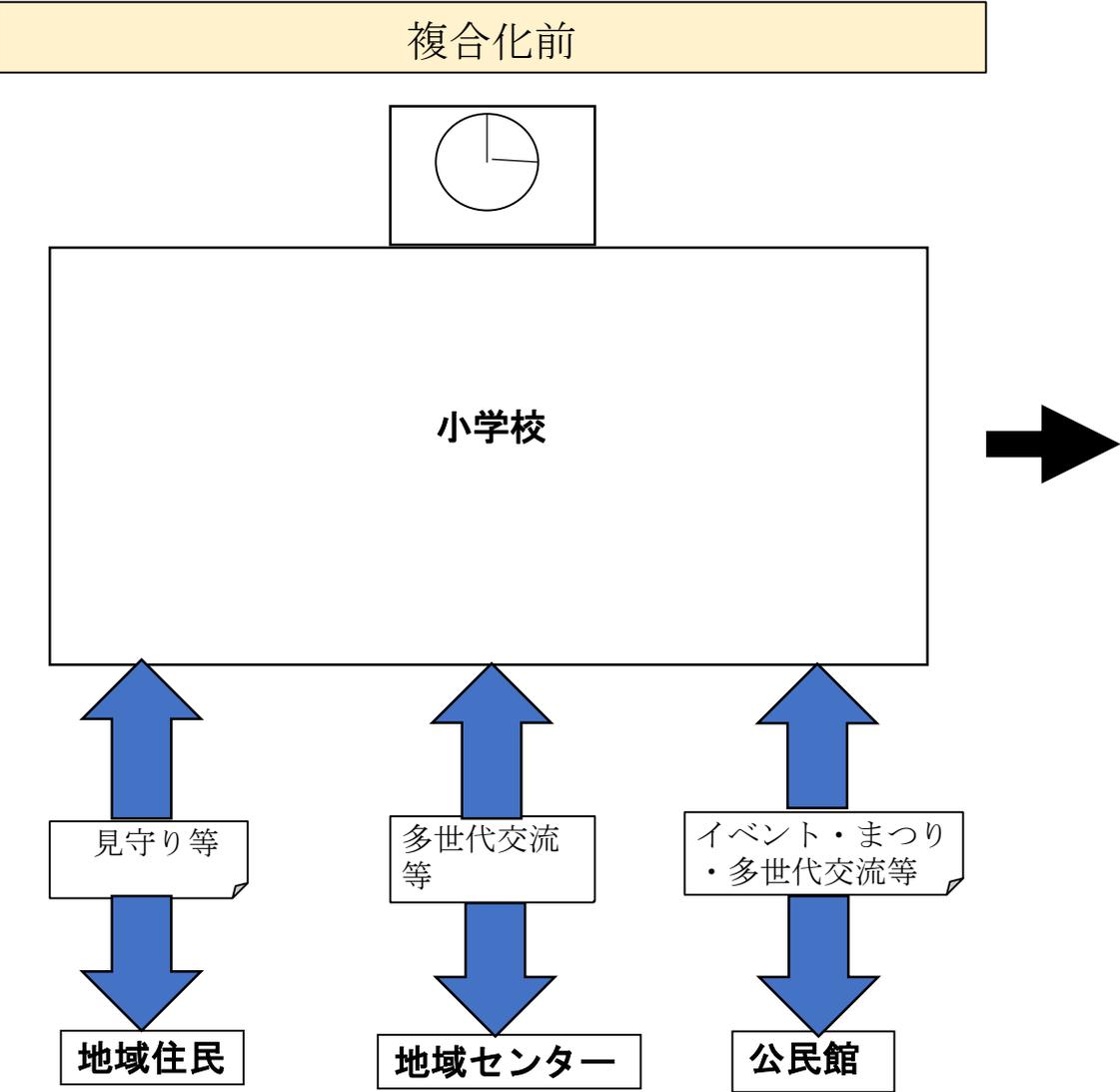
地域の身近な活動の場として、地域に住む様々な住民が、多様な担い手として円滑に活動できるためのプラットフォームを目指します。

③ 人々の「地域のために」という想いを大切に、地域貢献や地域還元に関わる施設づくり

地域住民がお互いに認めあい、支えあい、助けあえる地域コミュニティを育成し、地域愛や地域貢献意識を育む場をつくります。市民が課題解決や自己実現のために主体的に学び、活動し、さらには、そこで得た成果を地域に還元したり、次の世代に伝えたりするなど、地域を共に創っていくことができる場を目指します。

4 小学校等複合施設での地域コミュニティの醸成

地域コミュニティの醸成イメージ



出典：小平市公共施設マネジメントニュース（令和2年10月号）
「(仮称)小平第十一小学校の更新等に関する基本計画」策定に係る小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性について 一部加筆修正

複合化によるメリット		今後の検討のポイント
小学校 <ul style="list-style-type: none"> 複合施設の特性を生かした多角的な教育活動の実施 専門性のある人材や地域住民との連携による学校運営への支援 	(仮称) 地区交流センター <ul style="list-style-type: none"> 多世代交流の充実 小学校と連携することによるイベント活動の活発化 	<ul style="list-style-type: none"> どのように交流を広げ、深化させるか。 どのように児童の教育に還元させるか。 どのように地域コミュニティの醸成を図るか。 セキュリティの配慮

参考1 公民館・地域センター

公民館・地域センターの取組例

(仮称) 地区交流センターには、現状の公民館や地域センターのサークルや団体が活動することが想定されることから、現在行われてる取組例を以下に示します。

公民館



花小金井南公民館まつりでの「みんなでよさこい」の様子

分館10館と中央館の計11館あり、社会教育のための施設として、市民の文化・教養や学習、生活技術向上のために、誰でも参加できる学級・講座の開設、講演会、展示会、公民館まつりのほか、視聴覚教育事業（16ミリ発声映写機検定、機材・映写フィルムの貸出し、映画会など）を行っています。

このほか、市民の自主的なサークル・グループ活動に学習室（一般、音楽、工作、調理）、ホールなどの利用ができます。

取組例

- ①IT・パソコン、②育児・親子、③生花・華道、④囲碁・将棋・麻雀、⑤絵画制作、⑥会議・学習会、⑦楽器演奏、⑧合唱・うた・詩吟、⑨環境・園芸、⑩健康体操、⑪工芸、⑫語学活動、⑬茶道、⑭写真・写真加工、⑮手芸、⑯書道・ペン習字、⑰ダンス・民謡、⑱陶芸、⑲俳句・短歌、⑳文学、㉑料理、㉒歴史 など

地域センター



花小金井北地域センターでの「ダンス」の様子

地域に密着したコミュニティ活動の場として、市内に19か所の地域センターがあります。高齢者のための施設、子どものための施設、集会のための施設として利用できます。また、囲碁、将棋、お茶、お花、卓球、読書、また自治会、高齢クラブ、子ども会などの会合等にたくさんの方が利用しています。

取組例

- ①ダンス・民謡、②書道・ペン習字、③軽体操・ストレッチ、④輪投げ、⑤編み物・手芸・工芸、⑥囲碁・将棋、⑦ヨガ、⑧カラオケ、⑨気功・太極拳、⑩空手、⑪社交ダンス、⑫絵画等創作、⑬楽器活動 など

参考 2 志木市の複合施設地域交流事例

志木小学校

埼玉県志木市
全体工期：平成13年6月～平成15年3月
敷地面積：12,072㎡
保有面積：小学校10,489㎡ / 公民館1,704㎡ / 図書館1,034㎡
構造：SRC造地下2階地上4階

地域の方々とのふれあいが身近にある複合施設

真の地域融合を目指して、日常的に地域との接点を持てるよう、普通教室棟と生涯学習棟が中庭（レインボーガーデン）を挟んで向かい合って整備されており、中庭が両施設の交流空間となっている。また、日常的に中庭を挟んで互いの活動を目にできる空間ともなっている。複合化により、単独の学校として整備するよりも施設機能が高機能化・多機能化し、小学校においては、学習環境の質の向上が実現されるとともに、複合化した公民館・図書館のそれぞれの特性を活かした多角的な教育活動の実施が可能となっている。公民館・図書館においても多世代を対象とした講座の開催や、学校と連携した事業の展開等により効果的な活用が図られている。

例えば、休憩時間を利用して子どもたちが市立図書館で本の貸出し業務を手伝ったり、公民館の利用団体が小学校の部活動の指導をボランティアで行ったりしている。図書館の「おはなしのへや」で行われる学校図書員による「読み聞かせ教育」では、作中のメニューと給食献立をリンクさせることで、子どもたちに実体験を伴った読書活動の機会を提供している。

その他にも、公民館、図書館との連携授業として「命を学ぶ人権講座」を実施し、動物写真家や車椅子ダンサーのお話を聞いたり、パフォーマンスを見たりするなど、小学校だけではできないような経験を子どもたちにさせることが可能となっている。大人とのやりとりの中で、子どもたちは自然に大人との接し方や言葉使いを学び、社会性を身に付けていく。公民館のイベント「ふれあい祭り」には小学校も参加しており、地域との交流を深化し、教育活動への理解促進を図る機会となっている。

このように、地域の方々とのふれあいが身近にあるということが本施設の大きな特色となっている。



交流空間となっている学校施設と公民館の間の中庭（レインボーガーデン）



子どもたちも参加して実施された公民館のイベント「ふれあい祭り」



学校図書員による読み聞かせ教育
給食献立には作中メニューとリンクした「ぐりとぐら」のカステラ

出典：文部科学省HP
“学校施設整備・活用のための 共創プラットフォーム CO-SHA Platform”
https://www.mext.go.jp/content/20240321-mxt_shiki-000034782_1.pdf